

特別調査 2025年（令和7年）の経営見通し

問1. 貴社では、2025年の日本の景気をどのように見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。

1. 非常に良い 2. 良い 3. やや良い 4. 普通 5. やや悪い 6. 悪い 7. 非常に悪い

(単位：件・%)

	1	2	3	4	5	6	7
合計(構成比)	0.0	1.8	2.5	35.6	39.9	18.4	1.8
合計件数	0	3	4	58	65	30	3
製造	0	1	0	13	14	5	1
卸売	0	0	0	1	4	3	0
小売	0	1	2	18	20	10	2
サービス	0	0	1	11	11	6	0
建設	0	1	1	15	16	6	0

* 2025年の日本の景気見通しについては、「良い」(「非常に良い」・「良い」・「やや良い」の合計)と回答する割合が4.3%、「悪い」(「やや悪い」・「悪い」・「非常に悪い」の合計)と回答する割合が60.1%となった。結果、「良いー悪い」は△55.8となり、1年前の調査(△47.6)と比べて8.2ポイントの低下となった。業種別では、製造業△55.9(前回△48.5)、卸売業△87.5(同△37.5)、小売業△54.7(同△60.7)、サービス業△55.2(同△50.0)、建設業△51.2(同△29.2)となり、1年前の調査とくらべて、小売業は改善したが、他の業種は低下している。

問2. 貴社では、2025年の自社の業況(景気)をどのように見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。

1. 非常に良い 2. 良い 3. やや良い 4. 普通 5. やや悪い 6. 悪い 7. 非常に悪い

(単位：件・%)

	1	2	3	4	5	6	7
合計(構成比)	0.0	0.6	8.0	52.2	31.9	6.1	1.2
合計件数	0	1	13	85	52	10	2
製造	0	1	1	17	10	5	0
卸売	0	0	1	4	3	0	0
小売	0	0	5	26	17	3	2
サービス	0	0	3	13	12	1	0
建設	0	0	3	25	10	1	0

* 2025年の自社の業況(景気)見通しについては、「良い」(「非常に良い」・「良い」・「やや良い」の合計)と回答する割合が8.6%、「悪い」(「やや悪い」・「悪い」・「非常に悪い」の合計)と回答する割合が39.2%となった。結果、「良いー悪い」は△30.6となり、1年前の調査(△28.8)と比べて1.8ポイントの低下となった。業種別では、製造業△38.3(前回△28.5)、卸売業△25.0(同△12.5)、小売業△32.2(同△50.0)、サービス業△34.5(同△16.7)、建設業△20.5(同△12.2)となり、1年前の調査と比べて、小売業は改善したが、他の業種は低下している。

問3. 2025 年において貴社の売上額の伸び率は、2024 年に比べておおよそどのくらいになると見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。

1. 30%以上の増加 2. 20～29%の増加 3. 10～19%の増加 4. 10%未満の増加 5. 変わらない
6. 10%未満の減少 7. 10～19%の減少 8. 20～29%の減少 9. 30%以上の減少

(単位：件・%)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9
合計(構成比)	0.6	0.6	4.3	14.7	52.2	19.7	6.1	0.6	1.2
合計件数	1	1	7	24	85	32	10	1	2
製造	1	1	2	6	12	7	3	1	1
卸売	0	0	0	1	4	3	0	0	0
小売	0	0	3	7	25	13	4	0	1
サービス	0	0	1	6	17	2	3	0	0
建設	0	0	1	4	27	7	0	0	0

* 2025 年の自社の売上額見通し(伸び率)は、「増加」が 20.2%(前回 21.2%)、「減少」が 27.6%(同 28.2%)となった。結果、「増加ー減少」は△7.4(同△7.0)と、1 年前の調査と比べて 0.4 ポイント低下した。業種別では、製造業△5.9(前回△3.0)、卸売業△25.0(同 12.5)、小売業△15.0(同△16.1)、サービス業 6.9(同0.0)、建設業△5.0(同△7.3)となり、2025 年の売上額見通し(伸び率)は、1 年前の調査と比べて、小売業・サービス業・建設業が改善し、製造業・卸売業が低下している。

問4. 貴社では、自社の業況が上向く転換点をいつ頃になると見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。

1. すでに上向いている 2. 6 か月以内 3. 1 年後 4. 2 年後 5. 3 年後 6. 3 年超 7. 業況改善の見通しは立っていない

(単位：件・%)

	1	2	3	4	5	6	7
合計(構成比)	14.7	6.1	12.9	5.5	2.5	6.8	51.5
合計件数	24	10	21	9	4	11	84
製造	5	1	4	2	1	4	17
卸売	1	0	1	0	0	0	6
小売	6	6	8	4	1	3	25
サービス	5	3	2	1	0	1	17
建設	7	0	6	2	2	3	19

* 自社の業況が上向く転換点については、「すでに上向いている」が 14.7%(前回 7.1%)と最も多く、次に「1 年後」が 12.9%(同 14.1%)、「3 年超」6.8%(同 3.5%)、「6 か月以内」6.1%(同 4.1%)、「2 年後」5.5%(同 5.9%)、「3 年後」2.5%(同 11.2%)となった。前回調査と比べると、「すでに上向いている」が 7.6 ポイント、「6 か月以内」が 2.0 ポイント、「3 年超」が 3.3 ポイント上昇し、「1 年後」が 1.2 ポイント、「2 年後」が 0.4 ポイント、「3 年後」が 8.7 ポイント低下している。一方、「業況改善の見通しは立たない」と回答する割合は 51.5%で、1 年前の調査(54.1%)と比べ、2.6 ポイント低下し、「業況改善の見通しは立たない」とする企業割合は減少している。

問5. 脱炭素化への取組み(具体的な例は下の枠の中をご覧ください。)についてお伺いします。

脱炭素化に向けた取組みの事例
 情報提供：コスト削減事例の紹介、行政からの支援内容の紹介
 現状把握：CO₂排出量の算出サービスの紹介
 計画策定：省エネ診断の紹介、CO₂排出量削減計画の策定支援
 対策実行：LED・高効率空調・太陽光発電の導入支援
 資金供給：サステナブルファイナンス(SDGs・脱炭素化対応融資)

貴社は、脱炭素化に向けて、信用金庫業界に対して期待する取組みはありますか。1～8の中から最も当てはまるものを1つ選んでお答えください。また、貴社は、信用金庫業界が地域のために積極的に上の枠の取組みを行っていることを知っていますか。9～0の中から1つ選んでお答えください。

(信用金庫業界に期待する取組み)

- | | |
|---------------------------|-----------------|
| 1. 事例の紹介 | 5. 削減計画の策定 |
| 2. 行政からの支援内容の紹介 | 6. 設備導入支援 |
| 3. CO ₂ 排出量の算出 | 7. サステナブルファイナンス |
| 4. 省エネ診断 | 8. 特になし |

(信用金庫業界の取組状況)

9. 知っている
 0. 知らない

(単位：件・%)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
合計(構成比)	7.4	6.1	0.6	1.8	0.6	11.7	0.0	71.8	21.5	78.5
合計件数	12	10	1	3	1	19	0	117	36	128
製造	3	2	1	0	0	7	0	21	11	23
卸売	0	0	0	0	0	1	0	7	1	7
小売	5	4	0	1	0	5	0	38	7	46
サービス	1	0	0	2	0	3	0	23	8	21
建設	3	4	0	0	1	3	0	28	8	31

* 脱炭素化に向けて信用金庫業界に対して期待する取組については、「設備導入支援」が11.7%と最も多く、以下「事例の紹介」7.4%、「行政からの支援内容の紹介」6.1%、「省エネ診断」1.8%、「CO₂排出量の算出」・「削減計画の策定」が0.6%となった。なお、「特になし」は71.8%となっている。信用金庫業界が地域のために積極的に脱炭素への取組を行っていることを知っているかについては、「知っている」が21.5%、「知らない」が78.5%となった。

～調査員のコメントから～

- (製造業) 前浜の水揚げ減少により、海外産原料の仕入れが主体となっている。
- (製造業) 牧場とのコラボ商品(羊羹)を開発。競馬ファンからの人気も高くなっている。
- (卸売業) 秋サケ不漁で、サケに頼らない方針にしたが、他の魚も不漁で厳しい状況。
- (建設業) ベテラン職員の退職や高齢化による人材不足から、工期の遅延が出ている。
- (建設業) 中古住宅の需要が増加しており、リフォーム工事の依頼が増えている。
- (小売業) 秋サケ漁の不振で漁船への給油が減少。温暖化で灯油の動きも遅くなっている。
- (小売業) 漁業の不振で漁業者の収入は不安定、売掛金の回収に不安を抱えている。
- (サービス業) 自動車整備、メンテナンスにて安定稼働。従業員の高齢化が課題。
- (サービス業) 仕入先からの値上げ要請が続いているが、価格転嫁が間に合っていない。